

リアルタイム事務事業評価調書①【会議資料】

令和 7 年 7 月 10 日 作成

事業名	総合防災訓練事業					
担当部署	部	市民生活部	課	防災安全課	係	災害・防犯係

A) 基本情報

基本施策	3 安全・安心で利便性が高いまちづくり									
分野別施策	施策3 - 1 防災【重要施策】 -									
展開方向	<input checked="" type="checkbox"/> 災害対応力の強化									
	<input checked="" type="checkbox"/> 自助・共助による防災活動の推進									
	<input type="checkbox"/> 災害に強い都市基盤の整備									
予算科目	会計	一般	款	9	項	1	目	4	事業番号	1
事業名称	災害対策事業費			継続・新規	継続して実施している事業					

B) 事業概要・事業目的

事業の概要・目的	総合防災訓練の実施により、市民に自助、共助に基づいた防災対策を促すとともに、本市と消防、警察、ライフラインを担う企業等の防災関係機関との連携体制の確認、関係を深め、災害時に備えることで、市の防災体制の強化を図る。
----------	--

C) 過去の実績（事業の実績を示す数値 又は 事業の目標としたものの結果）※市民意識調査の結果は不可です。

実績の説明		単位	令和5	令和6	令和7
①	参加者数（令和5は雨天）	人	約347人	約600人	
	数値として出せる実績はない（下記に理由を記入↓）				
実績を出せない理由					

D) 昨年度（令和6年度）における事業の課題や反省点

①	・来場者数が増加しない。
②	・災害時の不測の事態に備えて、より実戦的な災害対策本部会議訓練の実施→R7災害対策本部訓練実施により対応済

<ul style="list-style-type: none"> <li>・来場増加に向けたこれまでの取り組み（各年度において追加した取組/来場者数）</li> <li>＜訓練等の内容＞</li> <li>R3（避難所開設訓練/329人）→R4（ペット同行避難訓練/800人）→R5（雨天により規模縮小/347人）→R6（遺体取扱訓練、罹災証明書発行訓練/600人）</li> <li>R7予定</li> <li>①医療救護訓練に助産師会参加 ②防災（語学）ボランティアの参加要請→外国人参加促進</li> <li>③東大生による防災講話④消防団による操法演技→一般市民の参加促進</li> <li>⑤スタンプラリー→小学生・保護者の参加促進</li> <li>＜周知方法＞</li> <li>市報、ホームページ、SNS、メール、会場の近隣家屋へのポスティング、会場の中学校区自治会へ通知</li> <li>ポスターの掲示（市の施設、小中学校、都立高校、玉川上水駅、上北台駅）</li> </ul>
---

E) 令和7年度の事務の進め方（予定含む）※なるべく時系列に沿って記入してください。

①	7月上旬 防災会議で訓練内容の決定
②	7月上旬～9月下旬 開催地の第三中学校と調整
③	7月上旬～9月下旬 参加する防災関係機関と調整
④	9月下旬～10月上旬 職員対象に説明会開催
⑤	前日に会場設営
⑥	

F) 令和7年度中に目指す目標・状態

※「〇〇意識を高める」、「理解を深める」等といった成果が不明確な目標ではなく、できるかぎり効果が数値化できる目標にしてください。

- ・前年度の来場者数を25%増（約750人）

G) 当該会議で聞きたいこと

※ある場合のみ記入してください。詳細は会議で説明してください。

- ① 本訓練の来場者数を増加させるため、訓練等の内容や周知方法を中心に意見等をいただきたい

H) 評価会議での意見・助言等

- ① 関係機関との連携強化を図りたいのか、市民の防災意識を向上させたいのか、目標値の設定を含め、このイベントの目的が曖昧であるため、明確にしてほしい。
- ② 参加人数を増やすことよりも、訓練の質を高めることを第一目的として検討してほしい。
- ③

総合防災訓練事業 参考写真



災害対策本部運営訓練



救出・救助訓練



避難所開設訓練



多数遺体取扱訓練



ロープワーク訓練



応急救護訓練



ペット同行避難訓練



二次避難所開設訓練



地震体験訓練



初期消火訓練（消火器）



広報ブース



炊出し訓練



応急救護訓練



車いす体験訓練



総合演習（医療救護所）



閉会式

リアルタイム事務事業評価調書②【実績報告・取組予定】

令和 8 年 3 月 10 日 作成

事業名	総合防災訓練事業					
担当部署	部	市民生活部	課	防災安全課	係	災害・防犯係

A) 会議を踏まえて、今年度中に取り組むことや事務の方向性など

または会議後に対応したこと、参考としたことなど

①	防災訓練の質を高め、訓練参加者や来場者の防災意識の高揚を図ることを目的に、令和7年度の訓練において、以下の取組を実施した。
②	・災害時の連携強化を図るために医療救護訓練に助産師会が参加
③	・東京大学の学生による防災講話やスタンプラリーの実施により、近隣の小学生や保護者等、幅広い年代が参加しやすい機会を創出
④	・ペット同行避難者が主体となって取り組むスターターキットを活用した訓練を実施
⑤	

B) R7年度の実績(事業の実績を示す数値又は事業の目標としたものの結果)

実績の説明	単位	目標値	R7実績値	【参考】R6実績値
① 前年度の来場者数を25%増(約750人)	人	750	1,200	600
②				
③				
④				
⑤				
数値として出せる実績が得られなかった(下記にその理由と当初の目標と代替する目標あれば記載してください)				
理由及び代替する目標				
R7実績は過去と比べて	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 例年通り <input type="checkbox"/> 低下した <input type="checkbox"/> その他	左記とした理由 又は 分析等(向上・低下した要因等): 訓練会場の中学校の全生徒が参加したこと、上記のとおり、防災訓練の質を高め、訓練参加者や来場者の防災意識の高揚を図る取組を実施した効果によるものと考えている。		

C) 来年度以降の課題や見直すべき点 ※事業の実施を経て、反省・見直しすべきだと思ったことを記入してください。

①	防災訓練の来場者の意見等を十分に訓練等の内容に反映できていない。
②	
③	
④	
⑤	

D) 来年(令和8年度)の取組予定

※事務予定または改善事項を記入してください。

①	取組内容	防災訓練の来場者からの意見を今後の訓練等に反映させるために、来場者にアンケートを実施する。
	取組終了時期	令和8年10月に実施

②	取組内容	
	取組終了時期	
③	取組内容	
	取組終了時期	

【予算への反映状況】

( 8 年 2 月 10 日 時点 )

予算科目	会計	一般	款	9	項	1	目	4	事業番号	1
事業名称	災害対策事業費									

予算額比較(R7-R8) (単位:円)

※会計年度任用職員に係る経費(報酬等)は記入不要です。

R7予算額(①)		R8予算額(②)		差額(②-①)	
事業費合計	3,952,000	事業費合計	3,740,000	事業費合計	-212,000
積算根拠		積算根拠		積算根拠	
訓練時等協力者謝礼	256,000	訓練時等協力者謝礼	264,000	訓練時等協力者謝礼	8,000
炊出しの賄材料費	176,000	炊出しの賄材料費	176,000	炊出しの賄材料費	0
会場設営委託料	3,520,000	会場設営委託料	3,300,000	会場設営委託料	-220,000
財源内訳		財源内訳		財源内訳	
一般	3,952,000	一般	3,740,000	一般	-212,000
国	0	国	0	国	0
都	0	都	0	都	0
市債	0	市債	0	市債	0
その他	0	その他	0	その他	0

予算額比較に差額が生じたか(変更したか)

<input checked="" type="checkbox"/>	生じた/変更した	<input type="checkbox"/>	生じていない/変更していない
-------------------------------------	----------	--------------------------	----------------

上記の要因/理由

①	訓練会場が2か所から1か所となることから、会場設営委託料が減少した
②	
③	
④	
⑤	